

第68回 西日本
読書感想画
コンクール

九州・山口各県図書館協議会選定
指定図書

小学校低学年1・2年

※価格はすべて税込み価格

西日本読書感想画コンクールは、本を読み、感じたことや考えたこと、心に浮かんだイメージなどを絵に表現することで、読書への意欲を高め、豊かな感性、想像力を育むことを目的に毎年開催しています。前回は約33万点の応募があり、地方での開催としては最大規模を誇ります。



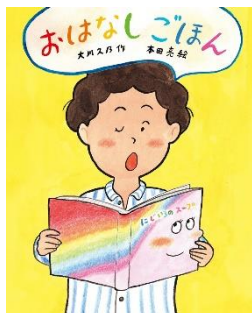
詳しくはこちら

おはなし ごほん

大川久乃／作

本田亮／絵

【あかね書房】1,320円

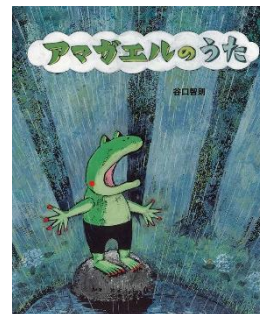


かぜで学校を休んだとしくん。たいくつしていると部屋のすみから、ゴホン！絵本がせきをしています。としくんが読んでくれないので、かぜをひいたのです。そして絵本は、お話の中身について問題を出します。答えながらお話を思い出していくとしくん。そこにお母さんがやってきて、としくんは絵本を音読します…。小さいころに好きだった絵本を読み返すことで、前の自分と今の自分のちがいに気がついていく男の子と絵本の物語。

アマガエルのうた

谷口智則／作

【アリス館】1,650円



アマガエルが歌うと雨がふる。どこかにこの歌が必要なひとはいるのかな？そうしてアマガエルは旅にでた。自分探しの旅はどこへ？川をくだって、海に着くと、そこで会ったのは……。子どもから大人まで楽しめる絵本。

うみのおと

たちもとみちこ／作・絵

【教育画劇】1,430円



波とおいかけっこしたり、うきわでプクプカしたり、すいか割りをしたり、貝がらをひろったり！はじめての海に、こぶたちゃんの胸は高鳴ります。ざぎー さきー ばしゃー くぶくぶ。夏が広がる素敵なしかけえほん。

かずさんの手

佐和みずえ／作

かわいちひろ／絵

【小峰書店】1,320円



96歳のかずさんはみかのひいおばあちゃん。いつも手遊びをして遊んでくれます。「かずさんの手、しわしわだね」「これでも、つやつやでしわひとつなかったときもあるんだよ。たくさんの男の人がこの手をにぎったものよ」何気ない冗談から、ふと、かずさんが話してくれたのは、1945年の8月9日の原爆が落とされた日のこと。長崎の病院での出来事でした。実際に看護師として働いていた方の体験を元に書かれた物語です。

いえ あるひ せんそうが はじまった

カテナ・ティホゾーラ／作

オレクサンドル・ブローダン／絵

すぎもとえみ／訳

【汐文社】1,870円



ぼくはこのすてきないえに、パパとママといぬのテレシクとすんでいた。あるひ、せんそうがはじまった... 2022年2月、ロシアがウクライナ侵略を開始。2年以上ものあいだ戦いは続き、多くの人が家族や平和な生活を失いました。これは、「いえ」をうばわれたおおぜいのうちのひとり、ある男の子のものがたり。いまも人々の苦しみは終わりません。ウクライナから届いた絵本が、戦争のいまを伝えます。

さかさまがっこう

荻田澄子／作

つちだのぶこ／絵

【文溪堂】1,430円



学校で使うおはじきを忘れてしまっただいくん。先生に怒られるかなあと心配しただいくんはさかさまのおまじないをとなえてみました…。すると、ふしぎなことに先生にほめられた！テストの点数が悪くても授業中におしゃべりしても、先生はニコニコしています。反対にせっかく足が速いのに「もっと遅く走りなさい」と言われたり、大好きな給食のカレーが甘くておいしくなくなったり。いったいどっちが良いんだろう？